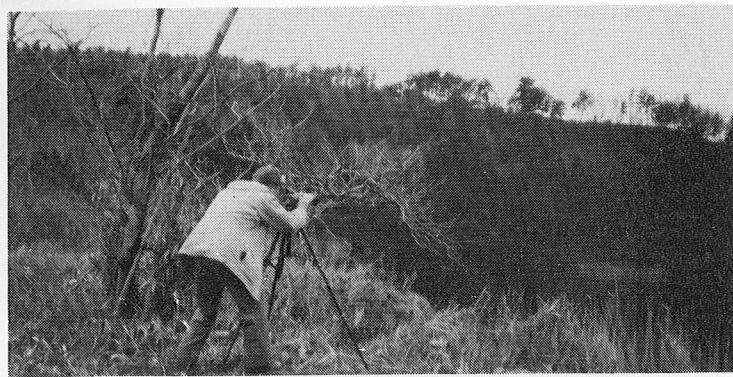


平成 7 年度

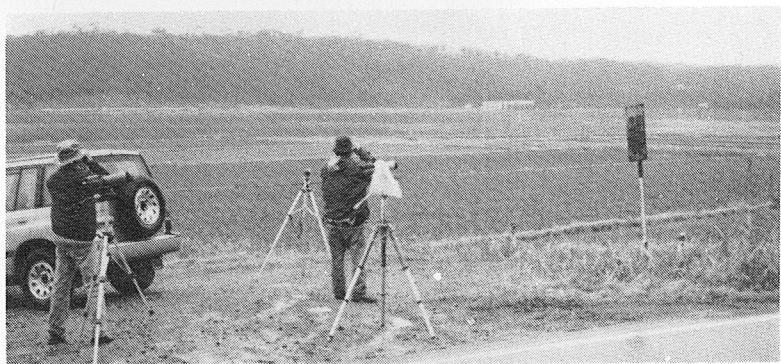
ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 8 年 2 月

福 井 県



福良ヶ池



北潟湖



加戸大堤



九頭竜川河口域



九頭竜川中流域



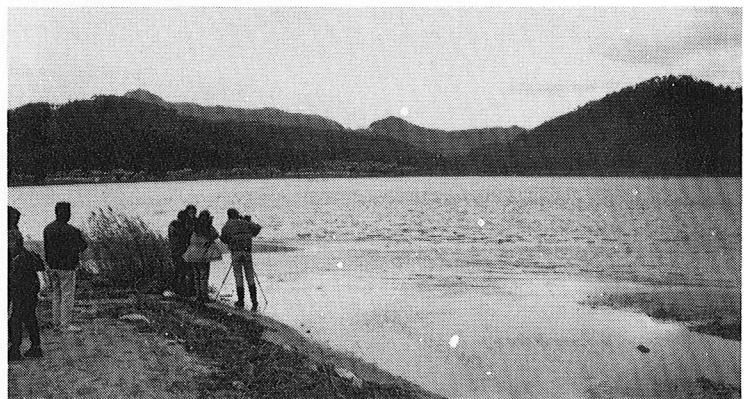
日野川



猪ヶ池



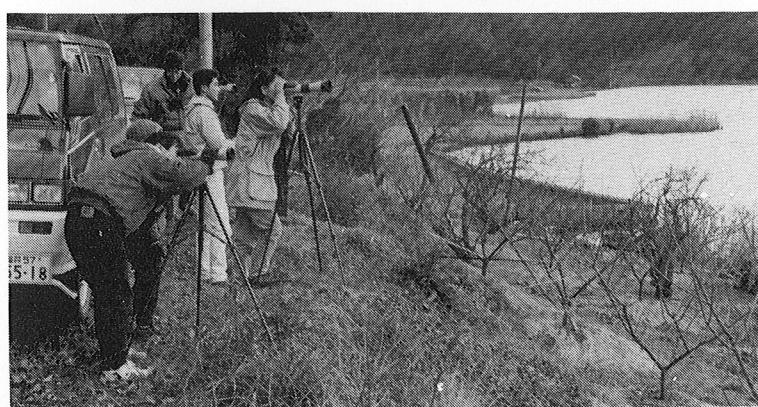
阿原ヶ池



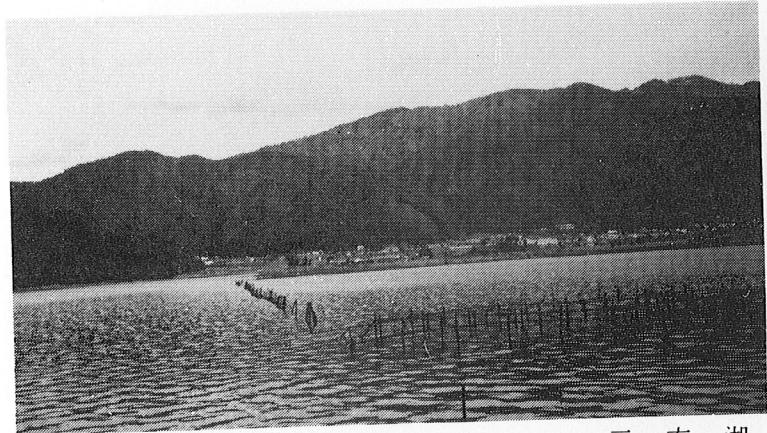
久々子湖



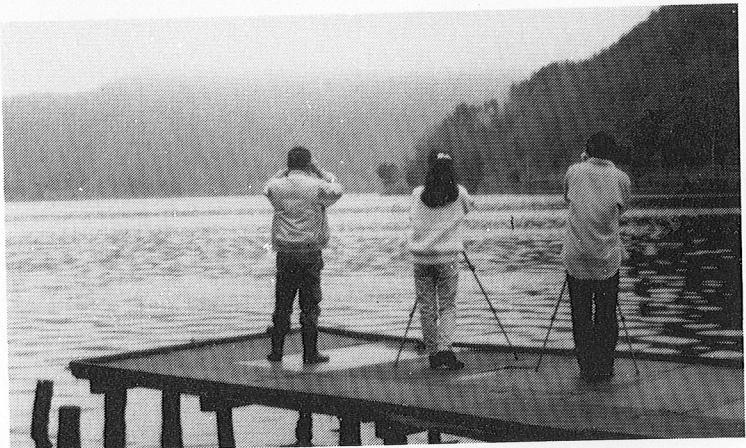
野川



菅湖



三 方 湖



水 月 湖



小 浜 湾

# 1. 調査の概要

## はじめに

ガンカモ科の鳥類は、河川、湖沼、海岸などの水域に主に生息している。

これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現われるため、それに応じてガンカモ科の生息状況が影響されるであろう。

また、ガンカモ科の大半の種は、狩猟鳥として重要な位置を占めている。

この事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の鳥類の渡来状況に関する野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわたる科学的な資料を必要とする。

そこで、ガンカモ科の鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握するため、調査員は、ガンカモ科の識別能力があり、また、過去にも調査のために調査・分析を行った。

### (4) 調査日と時間

この調査は、福井県より本会が委託されて実施されたものである。調査

結果が、福井県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、かつ鳥獣保護行政に資することができれば幸いである。

報告書をまとめるにあたり、調査方法の指導にあたられた福井県自然保護センター、及び調査実施に協力をいただいた会員各位に対して心からお詫びを申し上げる次第である。

数回行い、その平均値を記録とした。種構成、個体数、生息状況などの変化について、得られた結果を過去の資料と比較・分析した。

平成 8 年 2 月

(財) 日本野鳥の会福井県支部

# 1 調査の概要

(1) 経過  
この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）

の指示により、毎年1月15日を中心全国一斉に実施されているもので、今回は27回目である。

昭和52年度からは、本会にその事業が委託され主要な調査事業として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

この事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣行政に資するものとする。

(3) 調査実施者

この調査は、福井県の委託を受けて（財）日本野鳥の会福井県支部が実施した。

調査員は、ガンカモ科の鳥類の識別能力があり、また、過去にも調査経験のある会員52名で構成した（あとがき参照）。

(4) 調査日と時間

平成8年1月15日の午前中に調査を行った。

(5) 調査地

調査地は、福井県から指定された湖沼、河川、内湾などの13箇所であった（第1、2図）。

(6) 調査及び分析方法

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類を種別に個体数を記録した。各調査地に人員を3～11名配置し、双眼鏡（8～10倍）および望遠鏡（20～45倍）で種を判定し、その個体数を数取り器により記録した。記録の間、鳥が移動して消失や重複がありえたので、カウントは数回行い、その平均値を記録とした。種構成、個体数、生息状況などの変化について、得られた結果を過去の資料と比較・分析した。

## 2. 調査の結果及び考察

### (1) 概況

調査日の1月15日は、気温が7°～11°Cで雨まじりの天候であり、一部視界の悪い調査地もあったが、種の判定や個体数のカウントは順調に行われた。

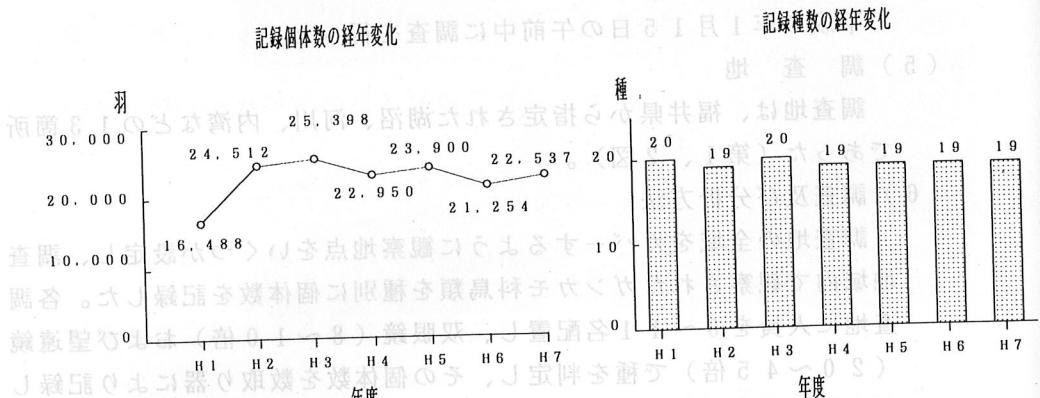
13ヶ所の調査地で、ガン類2種、ハクチョウ類1種、カモ類16種の計19種、計22,537羽が記録された。昨年度に比較して種数は変わらず個体数で1,283羽の増加となった(第1表、下図)。

ガン類は、マガソ、ヒシクイを合わせて588羽が、ハクチョウ類はコハクチヨウ9羽が、そして、カモ類は21,940羽が記録された。昨年度と比べ個体数が増加したのは、コガモ、ヒドリガモ、ホシハジロであり、逆に減少したのは、マガソ、ヒシクイなどであった。

そして、ガンカモ類で優占度の高かった種は、マガモ(53.6%)、コガモ(11.1%)、カルガモ(7.8%)、ヒドリガモ(7.0%)、ホシハジロ(6.5%)、キンクロハジロ(6.4%)などであった。逆に個体数の少なかった種はヒシクイ(6羽)、オシドリ(8羽)、コハクチョウ(9羽)、カワアイサ(11羽)、ハシビロガモ(12羽)などであった。

ここ数年の記録種数と個体数の変化(下図)をみると、種数は19種から20種、個体数は22,000羽～25,000羽を維持している。種別にみると、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモがやや増加傾向にあるが、オシドリ、カワアイサなどは記録個体数が少なく渡来地も限定されていた。

また、マガソ、ヒシクイは本調査地以外の坂井平野一帯に生息しているため年度別の記録個体数変化が大きく、本調査とは別にガン類に限定した生息調査の実施が是非とも必要と考えられる。(第3表)



### (2) 調査地別の種数と個体数

確認された総種数は、菅湖で最も多い14種が記録された。次いで久々子湖と三方湖で12種、日野川で11種であった。昨年度に比べ記録種数が増加したのは8調査地で、九頭竜川河口域の3種増が最も多い記録であった。

総個体数は、日野川で最も多い4,307羽が記録され、次いで北潟湖の3,298羽、九頭竜川中流域の2,962羽、菅湖の2,685羽、久々子湖の2,162羽の順となつた。昨年度に比べ総個体数で大幅に増加した調査地は、九頭竜川中流域(1,497羽増)、日野川(1,191羽増)、三方湖(875羽増)であった。逆に、減少数の多い調査地は、福良ヶ池(831羽減)、菅湖(688羽減)、九頭竜川河口域(685羽減)であった。

調査地別の記録状況は次のとおりであった（第1表）。

### 【福良ヶ池】

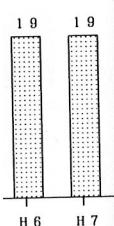
一部視  
われた。  
計19種、  
で1,283

コハクチ  
個体数が  
たのは、

コガモ  
5%)、キ  
ヒシクイ  
11羽)、

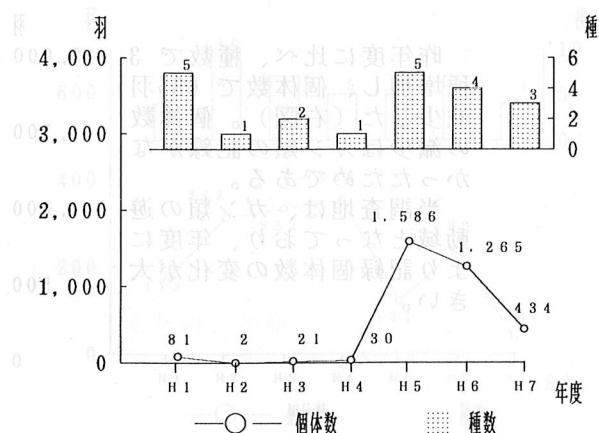
から20種、  
ジロ、キ  
イサなど

いるため  
生息調査

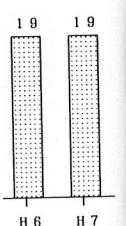


昨年度に比べ、種数で1種、個体数で831羽減少した（右図）。個体数の変化は、マガモが420羽減少したことが大きい。調査地周囲の立木が伐採されていたが、これが減少の原因であるかもしれない。

マガンは上空を通過した際に記録され、調査地を利用してはいなかった。

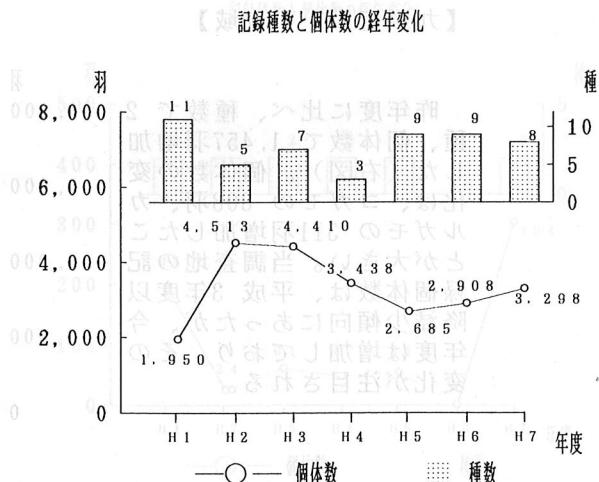


### 【北潟湖】

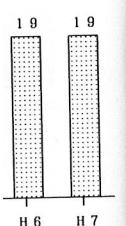


昨年度に比べ、種数で1種減少し、個体数で390羽増加した（右図）。個体数の変化はヒドリガモが431羽増加したことが大きい。昨年度、今年度と記録個体数がやや増加しており、個体数の変化が注目される。

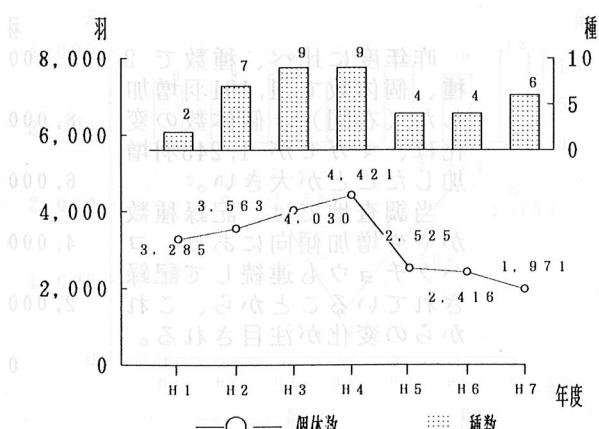
マガンは上空を通過した際に記録され、調査地を利用してはいなかった。



### 【加戸大堤】



昨年度に比べ、種数で2種増加し、個体数で445羽減少した（右図）。個体数の変化はマガモが516羽減少したことが大きい。当調査地では平成4年度をピークに個体数が減少しており、池周辺の開発が影響しているかもしれない。

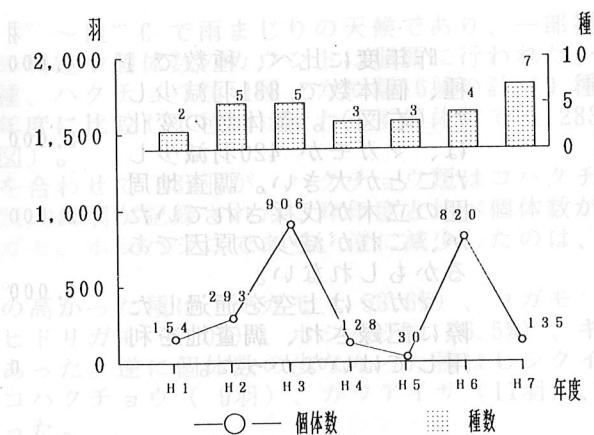


## 【九頭竜川河口域】

昨年度に比べ、種数で3種増加し、個体数で685羽減少した(右図)。個体数の減少はガン類の記録がなかったためである。

当調査地は、ガン類の遊動域となっており、年度により記録個体数の変化が大きい。

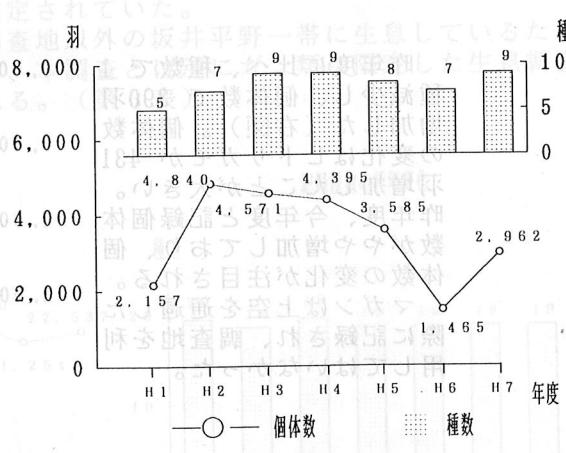
記録種数と個体数の経年変化



## 【九頭竜川中流域】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で1,457羽増加した(右図)。個体数の変化は、コガモの808羽、カルガモの311羽増加したことが大きい。当調査地の記録個体数は、平成3年度以降減少傾向にあったが、今年度は増加しており、その変化が注目される。

記録種数と個体数の経年変化

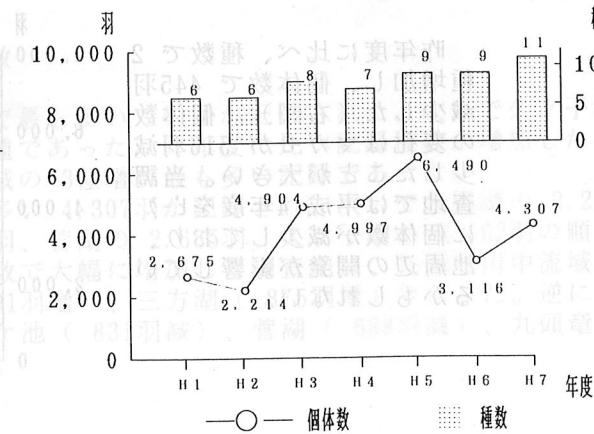


## 【日野川】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で1,191羽増加した(右図)。個体数の変化は、マガモが1,243羽増加したことが大きい。

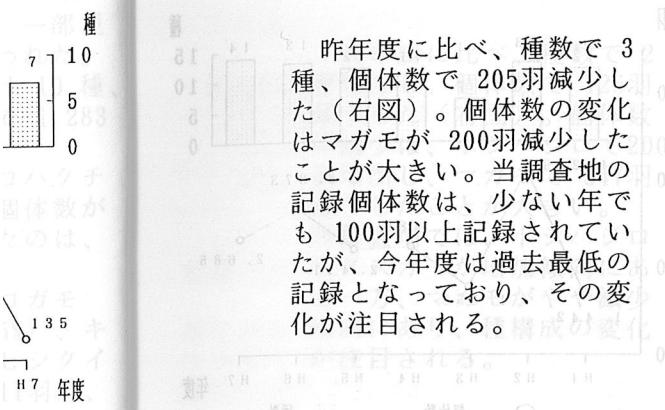
当調査地では、記録種数がやや増加傾向にあり、コハクチョウも連続して記録されていることから、これから変化が注目される。

記録種数と個体数の経年変化

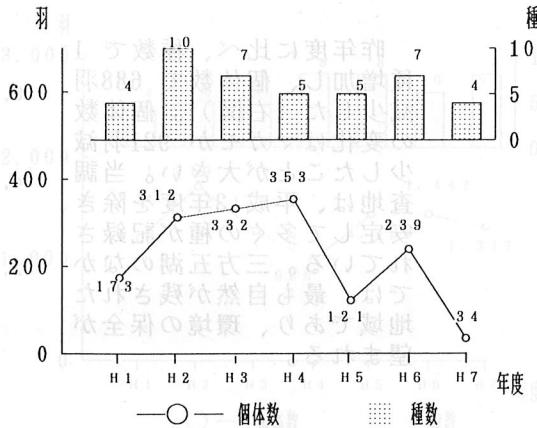


### 【猪ヶ池】

記録種数と個体数の経年変化

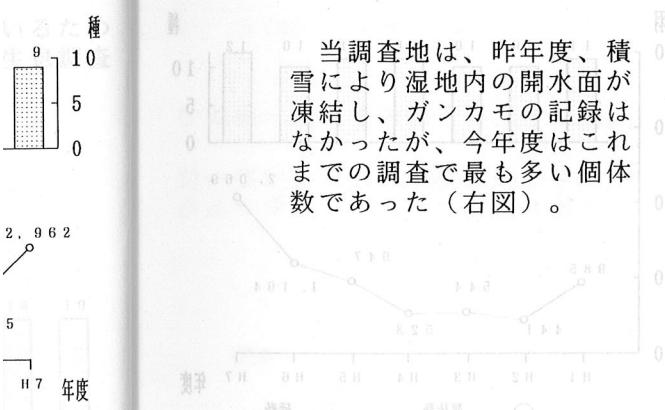


昨年度に比べ、種数で3種、個体数で205羽減少した(右図)。個体数の変化はマガモが200羽減少したことが大きい。当調査地の記録個体数は、少ない年でも100羽以上記録されていたが、今年度は過去最低の記録となっており、その変化が注目される。

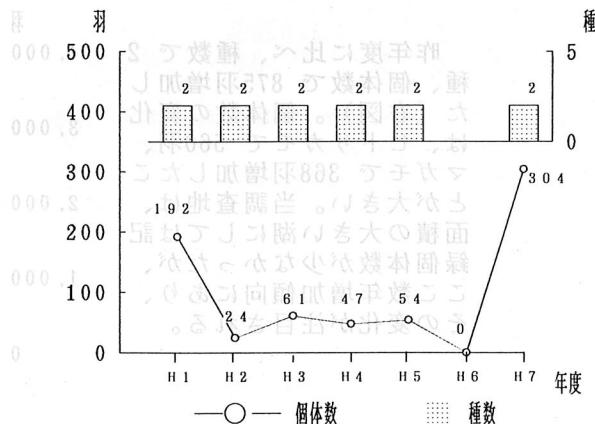


### 【阿原ヶ池】

記録種数と個体数の経年変化

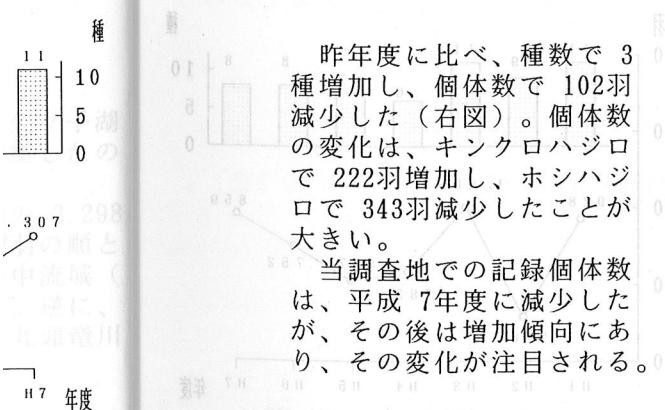


当調査地は、昨年度、積雪により湿地内の開水面が凍結し、ガンカモの記録はなかったが、今年度はこれまでの調査で最も多い個体数であった(右図)。



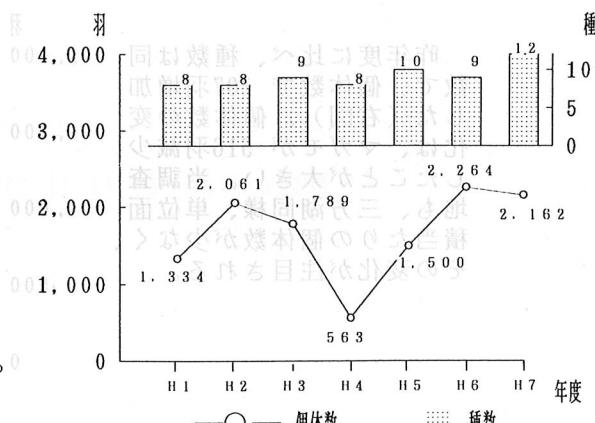
### 【久々子湖】

記録種数と個体数の経年変化



昨年度に比べ、種数で3種増加し、個体数で102羽減少した(右図)。個体数の変化は、キンクロハジロで222羽増加し、ホシハジロで343羽減少したことが大きい。

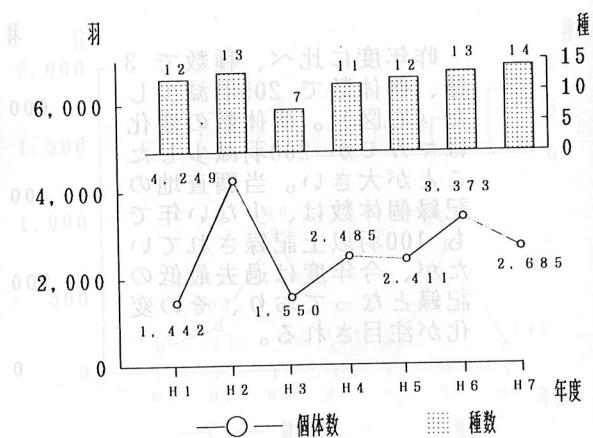
当調査地での記録個体数は、平成7年度に減少したが、その後は増加傾向にあり、その変化が注目される。



### 【菅 湖】

昨年度に比べ、種数で1種増加し、個体数で688羽減少した(右図)。個体数の変化はマガモが921羽減少したことが大きい。当調査地は、平成3年度を除き、安定して多くの種が記録されている。三方五湖のなかでは、最も自然が残された地域であり、環境の保全が望まれる。

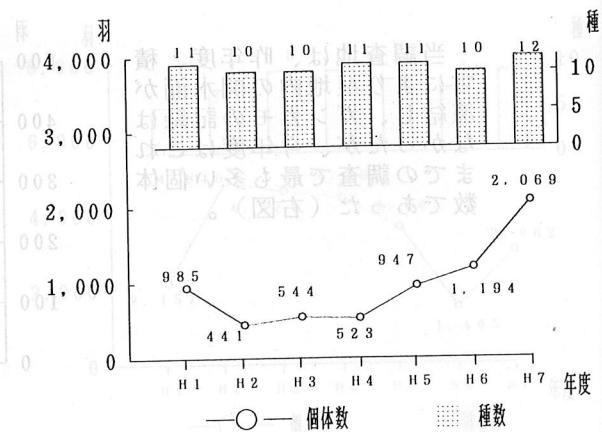
記録種数と個体数の経年変化



### 【三方湖】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で875羽増加した(右図)。個体数の変化は、ヒドリガモで560羽、マガモで368羽増加したことが大きい。当調査地は、面積の大きい湖にしては記録個体数が少なかったが、ここ数年増加傾向にあり、その変化が注目される。

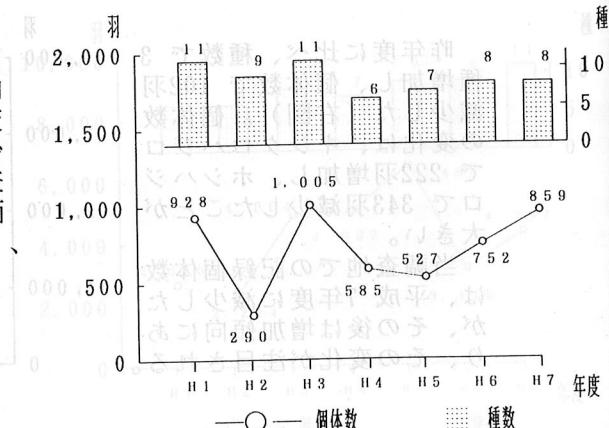
記録種数と個体数の経年変化



### 【水月湖】

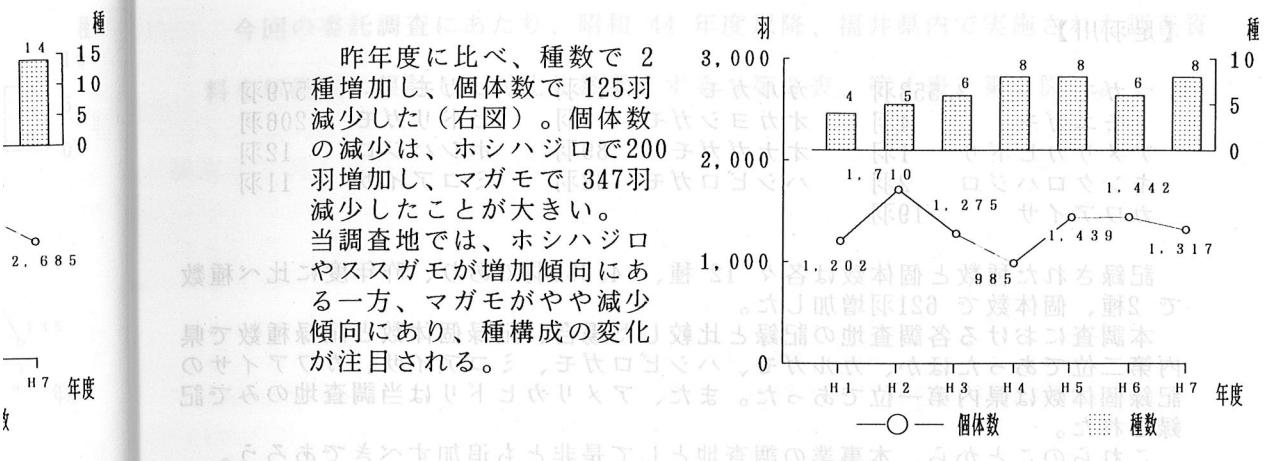
昨年度に比べ、種数は同数で、個体数で107羽増加した(右図)。個体数の変化は、マガモが516羽減少したことが大きい。当調査地も、三方湖同様、単位面積当たりの個体数が少なく、その変化が注目される。

記録種数と個体数の経年変化



○六〇歲実年齢調査の結果と種構成の年々の変化

【小浜湾】

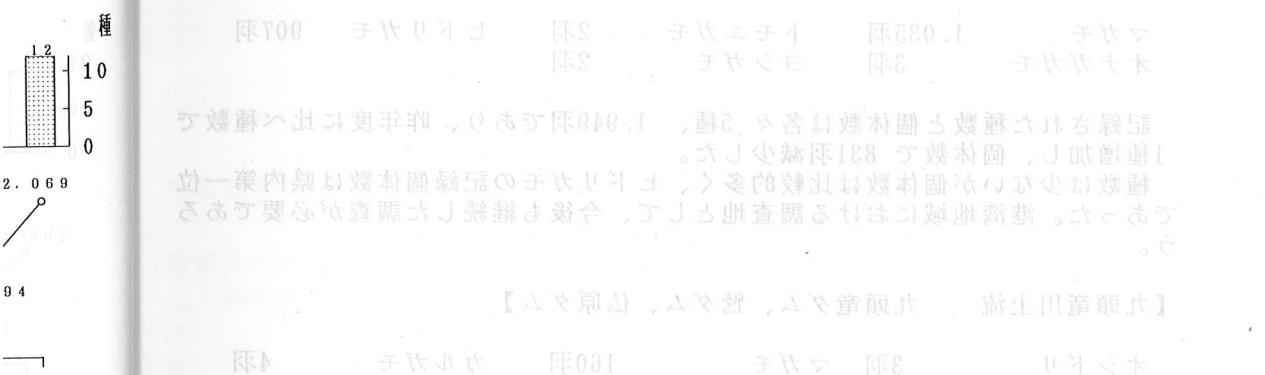


昨年度に比べ、種数で2種増加し、個体数で125羽減少した(右図)。個体数の減少は、ホシハジロで200羽増加し、マガモで347羽減少したことが大きい。

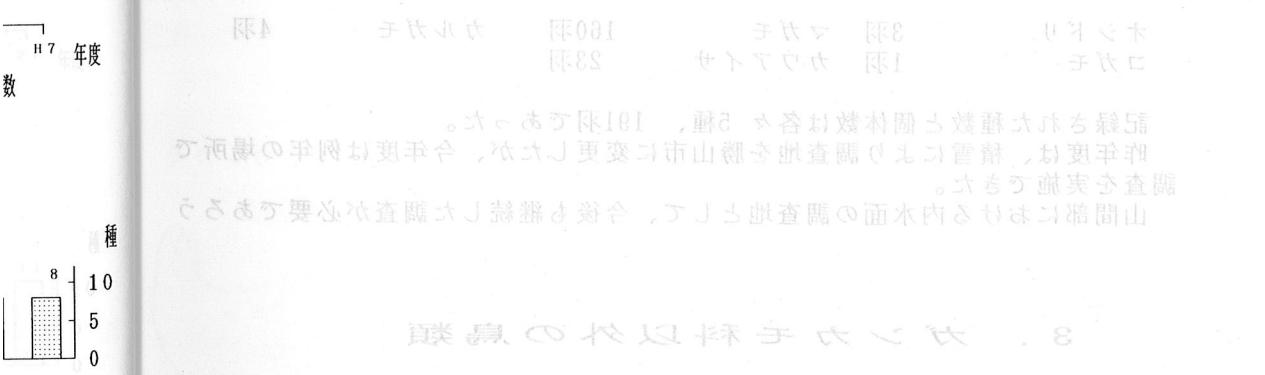
当調査地では、ホシハジロやススガモが増加傾向にある一方、マガモがやや減少傾向にあり、種構成の変化が注目される。

さあさあもへて風塵よもれ景す。まほらこのとほる。

【群落共属】



【アカウミ、アカセ、アカウミ】



(表S 種) 本邦の種類別記録数

同日、指定調査地以外の 3地域でもガンカモ科鳥類の生息調査を実施したので、参考までに報告する。

### 【足羽川】

マガモ	2,553羽	カルガモ	747羽	コガモ	579羽
トモエガモ	4羽	オカヨシガモ	8羽	ヒドリガモ	206羽
アメリカヒドリ	1羽	オナガガモ	89羽	ホシハジロ	12羽
キンクロハジロ	2羽	ハシビロガモ	32羽	ミコアイサ	11羽
カワアイサ	19羽				

記録された種数と個体数は各々 12 種、4,263羽であり、昨年度に比べ種数で 2種、個体数で 621羽増加した。

本調査における各調査地の記録と比較した場合、記録個体数と記録種数で県内第二位であったほか、カルガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、カワアイサの記録個体数は県内第一位であった。また、アメリカヒドリは当調査地のみで記録された。

これらのことから、本事業の調査地として是非とも追加すべきであろう。

### 【福井新港】

マガモ	1,035羽	トモエガモ	2羽	ヒドリガモ	907羽
オナガガモ	3羽	ヨシガモ	2羽		

記録された種数と個体数は各々 5種、1,949羽であり、昨年度に比べ種数で 1種増加し、個体数で 831羽減少した。

種数は少ないが個体数は比較的多く、ヒドリガモの記録個体数は県内第一位であった。港湾地域における調査地として、今後も継続した調査が必要である。

### 【九頭竜川上流 九頭竜ダム、鷺ダム、仏原ダム】

オシドリ	3羽	マガモ	160羽	カルガモ	4羽
コガモ	1羽	カワアイサ	23羽		

記録された種数と個体数は各々 5種、191羽であった。

昨年度は、積雪により調査地を勝山市に変更したが、今年度は例年の場所で調査を実施できた。

山間部における内水面の調査地として、今後も継続した調査が必要であろう。

## 3. ガンカモ科以外の鳥類

ガンカモ科の鳥類以外に、計 11 目 24 科 53 種が記録された（第 2表）。

第1回

#### 4. 過去における調査結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和 44 年度以降、福井県内で実施された調査資

同様、県の事業として吉永監視官が実施したの  
で、参考までに第 1 ベルト調査事業実施要領

資料開示申請の結果、内閣共議、財政省、林野省、日本野鳥の会福井県支部の回合

第 1 ベルト調査（図 8）  
第 1 ベルト調査（表 8）

この事業は、福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の飛来状況に関する基礎資料を提供し、鳥獣行政に資するものとする。

記録された種数と個体数は各々 12 種、4,263羽であり、昨年度に比べ種数 2 種、個体数 621羽増加した。

第 2 調査実施者

本調査は、各調査地の記録と比較した場合、記録種数と記録個体数で県内第二位であったほか、カルガモ、ハシビロガモ、ミコアイサ、カワアイサの記録個数は、(財)日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

これらのことから、本事業の調査地として是非とも追加すべきであろう。

〔調査地〕

第 3 調査地は、別表参照で省略。

マガモ	1,035羽	トモエガモ	2羽	セドリガモ	807羽
オナガガモ	3羽	ヨシガモ	2羽		

第 4 調査方法

種数と個体数は各々 5 種、1,949羽であり、昨年度に比べ種数で 1 種増加し、個体数で 831羽減少した。

調査は、各地の調査地に生息するガンカモ科鳥類の種類、個体数を確認する方法で実施し、原則として定点調査を実施するものとする。

なお、大きい面積の調査地については、全域を実施できるように充分留意し、野外記録表は規格 B 5 版を使用し、別表のとおりとする（別表省略）。

オンドリ	3羽	マガモ	160羽	カルガモ	44羽
コガモ	1羽	カワアイサ	23羽		

第 5 調査期日

記録された種数と個体数は各々 5 種、191羽であった。

調査期日は、平成 8 年 1 月 15 日から 1 月 17 日までの間とし、ガンカモ科鳥類の最も安定した環境、飛来羽数を考え調査するものとする。

第 6、第 7 については、省略する。

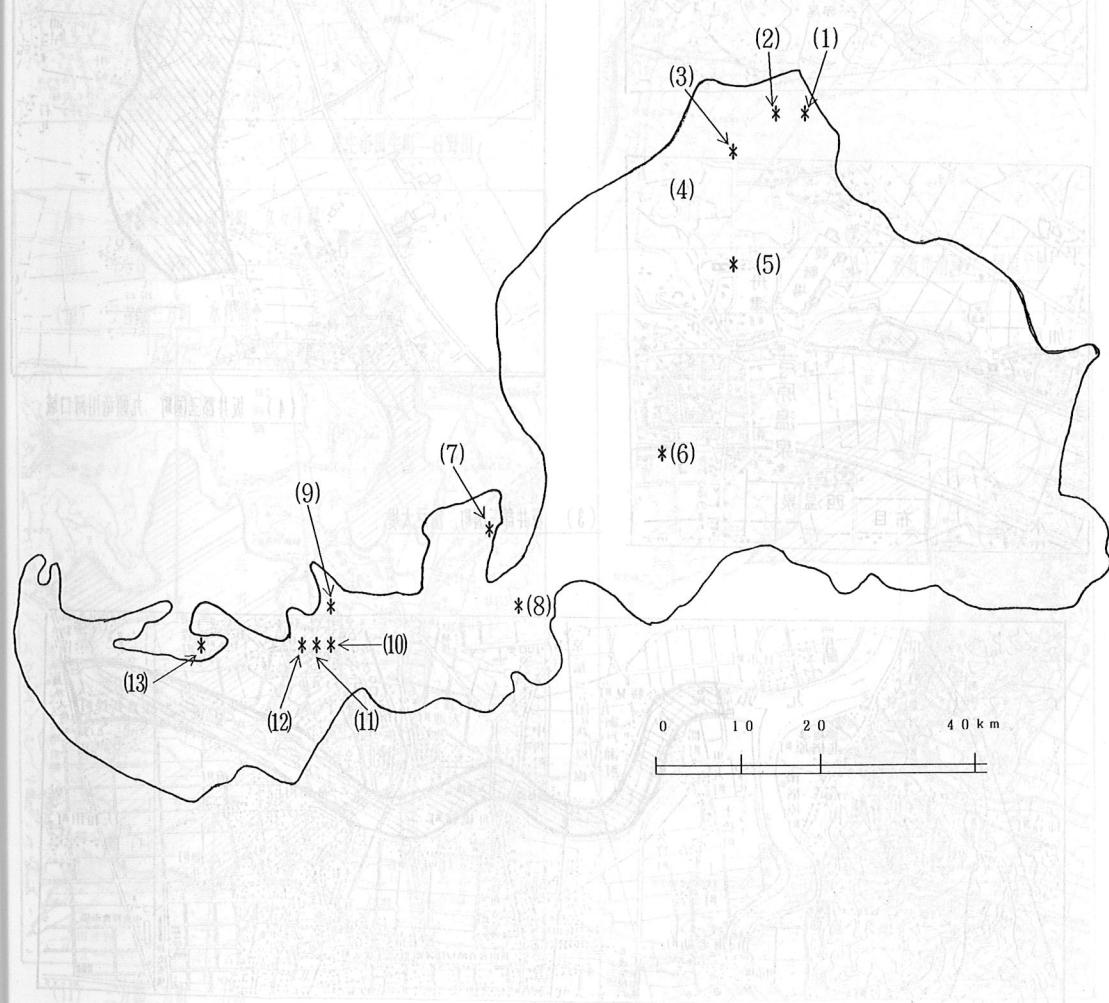
〔第 8 ベルト調査〕

ガンカモ科の鳥類以外に、計 11 種 24 羽 53 種が記録された（第 2 表）。

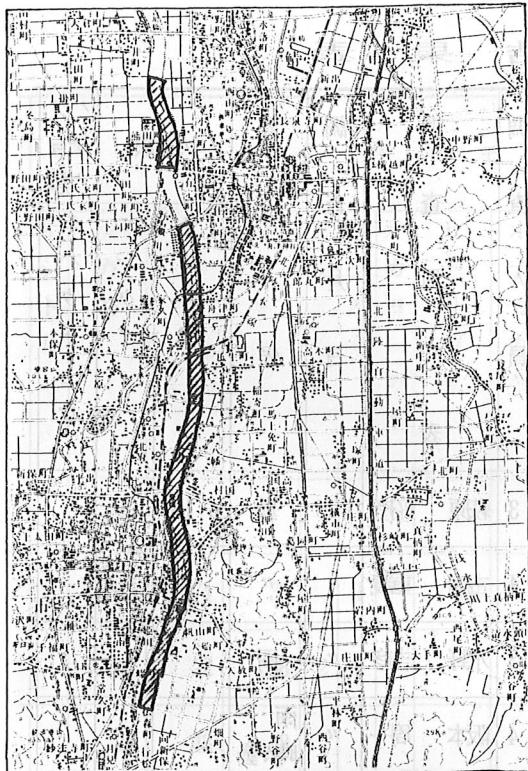
第1図

## 平成7年度ガンカモ科鳥類生息調査地

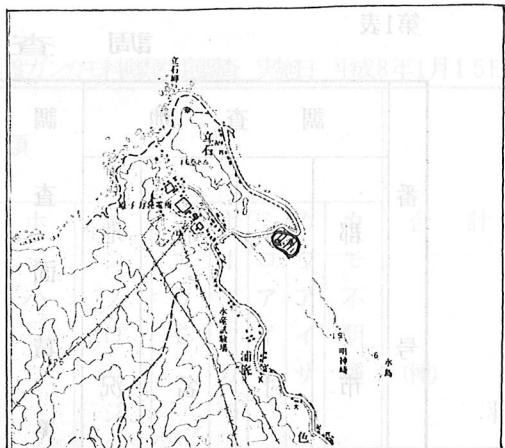
- |               |           |
|---------------|-----------|
| (1) 福良ヶ池      | (芦原町)     |
| (2) 北潟湖       | (金津町・芦原町) |
| (3) 加戸大堤      | (三国町)     |
| (4) 九頭竜川<河口域> | (三国町)     |
| (5) 九頭竜川<中流域> | (福井市)     |
| (6) 日野川       | (武生市・鯖江市) |
| (7) 猪ヶ池       | (敦賀市)     |
| (8) 阿原ヶ池      | (敦賀市)     |
| (9) 久々子湖      | (三方町・美浜町) |
| (10) 菅湖       | (三方町)     |
| (11) 三方湖      | (三方町・美浜町) |
| (12) 水月湖      | (三方町)     |
| (13) 小浜湾      | (小浜市)     |



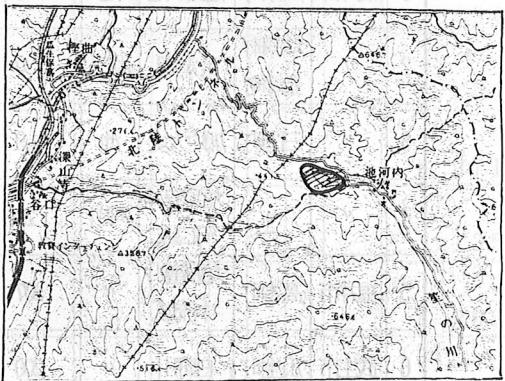




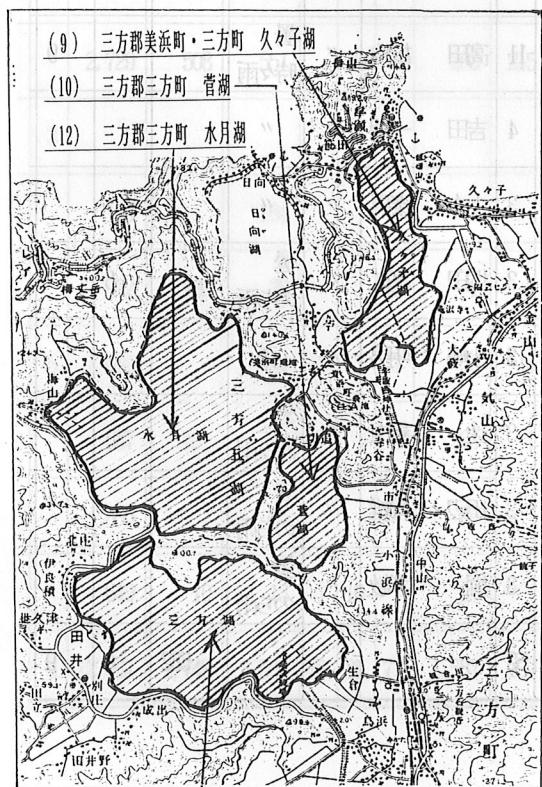
(6) 武生市瓜生町 日野川



(7) 敦賀市明神町 猪ヶ池



(8) 敦賀市池河内 阿原ヶ池



(9) 三方郡美浜町・三方町 久ヶ子湖

(10) 三方郡三方町 菖湖

(12) 三方郡三方町 水月湖



(11) 三方郡三方町 三方湖

(13) 小浜市甲ヶ崎 小浜湾

第1表

## 調査結果表

番号	調査地				調査面積ha	鳥獣保護等の区分	調査人員	調査員代表	調査月日	天候	ガン類		ハクチョウ類
	郡市	町村	地名	地況							マガソ	ヒシクイ	
1	坂井郡	芦原町	福良ヶ池	池	3	銃禁	3	萩原 昭彦	1/15	曇	150		
2	"	芦原町 金津町	北潟湖	湖沼	230	保護	4	古畠 重義	"	"	432		
3	"	三国町	加戸大堤	池	9	"	3	水野 吉彦	"	雨			
4	"	"	九頭竜川 河口域	河川	20	その他	4	阪本 周一	"	雨 時々曇			
5	福井市	高木町	九頭竜川 中流域	"	307	保護	5	瀬戸 靖夫	"	"			
6	武生市	瓜生町	日野川	"	200	銃禁	11	高田 雄治	"	曇 時々雨			9
7	敦賀市	明神町	猪ヶ池	池	6	保護	4	吉田 一朗	"	"			
8	"	池河内	阿原ヶ池	"	8	"	3	上木 泰男	"	"			
9	三方	美浜町 三方町	久々子湖	湖沼	140	"	3	堀田 高久	"	曇 のち雨			6
10	"	三方町	菅 湖	"	92	"	3	小嶋 明男	"	雨			
11	"	"	三方湖	"	358	"	3	辻 義次	"	曇 時々雨			
12	"	"	水月湖	"	423	"	3	田辺 韶雄	"	曇 のち雨			
13	小浜市	甲ヶ崎	小浜湾	海面	650	銃禁	3	堀 孝敏	"	曇 のち雨			
合 計					2,446		52				582	6	9

内訳	鳥獣保護区	9ヶ所
	銃獣禁止区	3ヶ所
	その他の	1ヶ所

(平成7年度ガンカモ類生息調査 実施日 平成8年1月15日)

カモ類																	合計 (種) 羽
オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカモ	ヒヨガモ	オガモ	ハシガモ	ホシガモ	キンガモ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	カモ不明種	
	280										4						( 3) 434
	1,957	274	32		1		599							1	2		( 8) 3,298
	1,544	22	398	2	2										3		( 6) 1,971
	29	43	48					6		3	4				2		( 7) 135
	1,508	456	937	7		2	39	3							2	8	( 9) 2,962
	2,729	508	551		3		280	215	7						1	1	(11) 4,307
3	5														22		( 4) 34
	140		164														( 2) 304
	302	230	39		15	1		1	761	736	58	12	1				(12) 2,162
5	1,982	4	131	5	17	7	59	14		11	139	306	3	2			(14) 2,685
	587	201	196		9	560	1	4	343	160	1	4	3				(12) 2,069
	355				44	25				11	367	47	1	9			( 8) 859
	649	10	13	1	10		24			337		240				33	( 8) 1,317
8	12,067	1,748	2,509	15	33	77	1,587	239	12	1,466	1,432	652	22	29	11	33	(19) 22,537

第2表

第1表

## ガンカモ科以外の鳥類

場所 種類	福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭原河口域	九頭原中流域	日野川	猪ケ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	計
1 カツアリ					3	21	2		6	5		6	1	44
2 ハジロカツアリ		4		3					33	18	205	21		284
3 カムムカツアリ		24		11	8	1			7	229	80	7	7	374
4 カウ	2	138	5	6	35	22			3	3		4	8	226
5 タカ											92		3	95
6 ダバチ						1								1
7 ダバチ					2	9			1					12
8 ダバチ		5			2	4				3	3			17
9 ダバチ	2	9	3	2	4	14	1		7	4	8	1	1	56
10 ダバチ		2		1					1	1				5
11 ダビ	2	25	8	7	10	14	1		14	3		13	12	109
12 ダバチ												1		1
13 ダバチ							1							1
14 ノコノコ		2		1	1		1					2		7
15 ダバチ						6								
16 ダバチ										1				1
17 ノコノコ		14		7										21
18 ダバチ													3	3
19 ダバチ		8								1	35	2		46
20 ダバチ									23	17		3	2	45
21 ダバチ							1			5			2	8
22 ダバチ		1				10			7		10		1	29
23 ダバチ							3		28		15		1	47
24 ダバチ				4	3	31		1		2			1	42
25 ダバチ								1						1
26 ダバチ	1					3				1				5
27 ダバチ								2						2
28 ダバチ							1				1			2
29 ダバチ										1				1
30 ダバチ												1		1
31 ダバチ	8	4			3	4	1	1	4	1		1	5	32
32 ノコノコ										2				2
33 ヒヨドリ	8		2	3		7	4	20	7	2		5	7	65
34 モズ					1		3			1				5
35 ノコノコ								1						1

鳥類保護区  
内観察禁止区  
その他

(調査実施日 平成8年1月15日)

場所 種類	福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜河域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	計
36 ジョガツヌリ										1				1
37 イシカワ								8		1				9
38 イハヨウ													1	1
39 ツバ	7				1	6	2	37	0	1				54
40 ヴィス	6						2	1						9
41 ハギ						6	1	4		1		1		13
42 ヤマモト							1			1			2	4
43 ジュウカラ							1	2		1		1		5
44 メロ	10						2							12
45 材沢		6				2			3			2	2	15
46 カラヌカ						20				1				21
47 アオジ		1												1
48 カラビワ						6	3			1			5	15
49 ツメ		50			28	1				3			80	162
50 ケリ		80	120	44										244
51 カヌ								3		1				4
52 ハボリガス		8	19		9	6		2	9	4		4	5	66
53 ハグロガス	10	8			3		1			1		17	10	50
合 計	56	389	37	166	156	197	29	83	153	317	448	92	160	2,283

第2表

第3表

## ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

年 度 種 名	S 44	S 45	S 46	S 47	S 48	S 49	S 50	S 51	S 52	S 53	S 54	S 55
1 マガ		130						8				203
2 ピタ						58				30		
不明種					58							
計	0	130	0	0	58	0	0	8	0	30	0	203
3 カツオタカ												
4 コウチュウ	4				1							
計	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5 ハクセキ							1					
6 オサギ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64
7 マヅシ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226
8 加那	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531
9 フル	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186
10 ハチブ	60		2	19	25	3	100	1	4	18	9	14
11 ミヅ	57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75
12 ハコヅ				3			4		2			12
13 ヒメヅ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172
14 ハリヅ												
15 ハシヅ			1	6	22	24	25	11	15	487	271	8
16 ジアジ												
17 バヒヅ				2	3	92	115	5	2	18	5	9
18 ハハヅ		1										
19 ハル	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455
20 ウカハル	35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807
21 ハヌ				12	10			4	98	195	120	387
22 ハヅ									3	6		7
23 ハシヅ			1			5	3	1	47	21	32	24
24 ハリ			19	3	2	22	35	1	26	66	35	44
25 ハア							6		2	4	2	9
26 ハア		1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20
不明種			100	30	9	10	214			3		
計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050
合 計	3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253

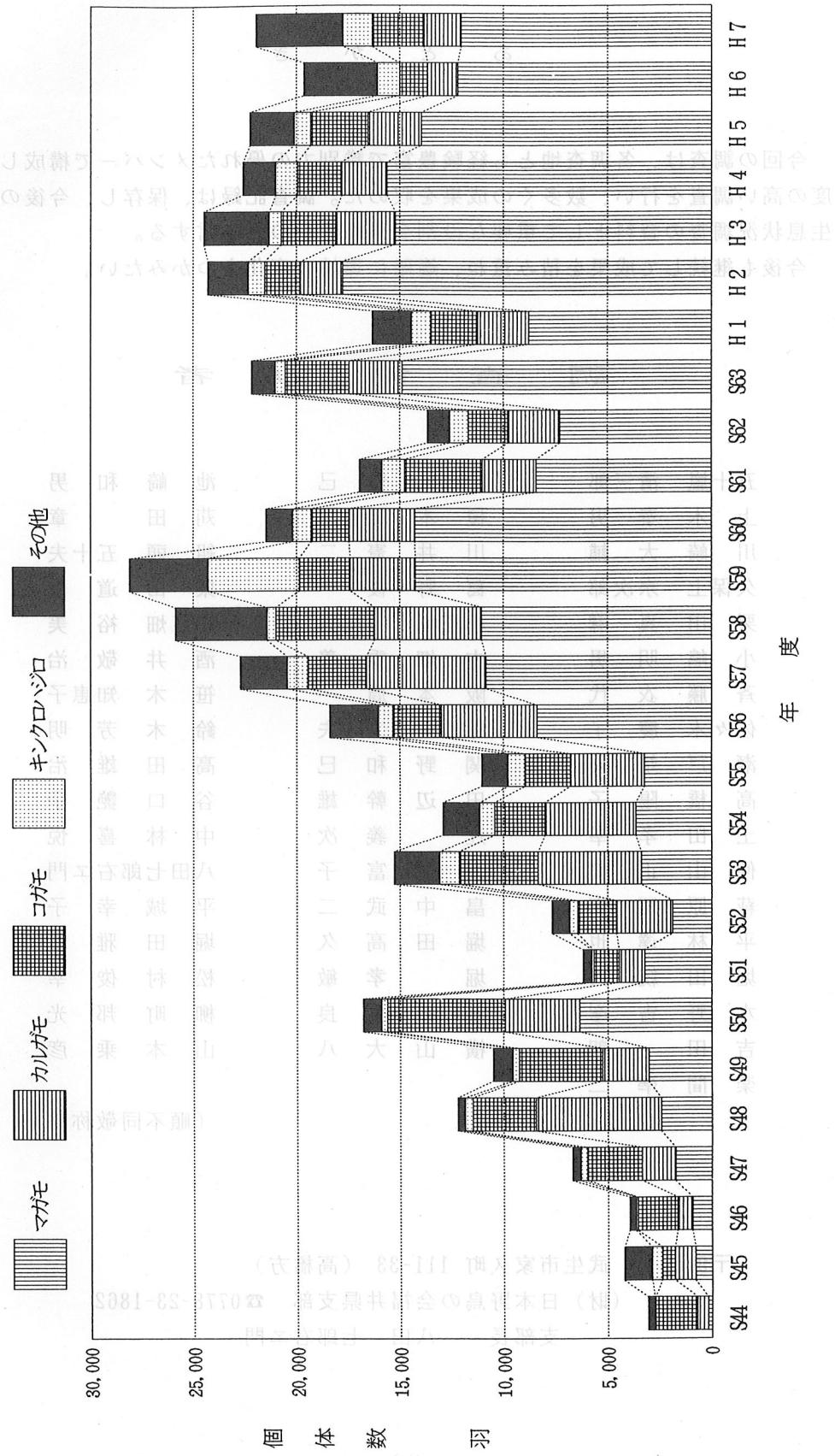
S 56	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
				2	260	2			87	720	130	1,650	1,295	582
				133	18		86	140	103	62	199	8	319	6
1	0	0	0	135	278	2	86	140	190	932	329	1,658	1,614	588
					3									
			1	4					14	34	12	48	1	2
0	0	0	1	4	3	0	0	14	34	12	48	1	2	9
18	15	84	28	45	37	17	10	2	2	14	11	6	15	8
8,375	10,842	11,059	14,232	14,254	8,402	7,282	14,884	8,758	17,780	15,215	15,620	13,957	12,217	12,067
4,629	5,775	5,162	3,175	3,231	2,624	2,485	2,571	2,477	2,020	2,888	2,201	2,584	1,452	1,748
2,320	2,842	4,762	2,457	1,815	3,739	1,936	3,083	2,289	1,718	2,633	2,122	2,773	1,335	2,509
6	7	51		32	9	5	179	3	13	4	4	14	45	15
40	26	67	58	40	14	15	60	18	2	12	18	16	10	33
20	12	31	9	7	12	14	27	55	27	83	141	157	112	77
177	266	390	153	170	181	223	294	275	382	1,443	543	795	664	1,587
								1						
560	297	1,368	115	244	135	71	272	278	49	247	254	371	216	239
			1		2									
19	23	11	4	7	3	3	1	12	6	26	1	7	7	12
						1								
786	629	1,028	3,144	374	177	154	150	509	501	712	191	471	1,303	1,466
699	972	422	4,395	871	1,092	885	479	899	791	566	1,037	775	1,061	1,432
616	904	1,349	182	262	355	221	73	347	631	479	310	246	603	652
3										1				
32	30	33	48	23	11	10	14	32	9	39	19	18	11	22
43	40	45	40	84	77	81	53	67	37	72	67	38	24	29
2			2					2						
63	36	4	42	2	5	12	12	10	6	13	34	13	3	11
				5	92	257	6	300	314	7			560	33
18,408	22,716	25,867	28,084	21,468	16,965	13,672	22,168	16,334	24,288	24,454	22,573	22,241	19,638	21,940
18,409	22,716	25,867	28,085	21,607	17,246	13,674	22,254	16,488	24,512	25,398	22,950	23,900	21,254	22,537

第4表 ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

区分 年度	調査 箇所	調査対象 面積 ha	調査 人員	調査結果								観察密度 羽/ha	
				ガン類		カモ類		ハクチョウ類		合計			
				種	羽	種	羽	種	羽	種	羽		
S 44	6	1,198	2 2	0	0	9	3,063	1	84	10	3,067	2.5	
S 45	1 2	2,481	3 5	1	130	10	4,215	0	0	11	4,345	1.6	
S 46	1 2	2,284	4 2	0	0	14	3,952	0	0	14	3,952	1.7	
S 47	1 6	3,400	7 4	0	0	16	6,682	0	0	16	6,682	1.9	
S 48	1 4	2,725	7 8	1	58	15	12,232	1	1	17	12,291	4.5	
S 49	1 1	2,725	5 9	0	0	15	10,503	0	0	15	10,503	3.8	
S 50	1 4	2,677	8 3	0	0	18	16,800	0	0	18	16,800	6.2	
S 51	9	1,395	4 6	1	8	14	6,164	0	0	15	6,172	4.4	
S 52	9	2,184	3 3	0	0	18	7,653	0	0	18	7,653	3.5	
S 53	1 3	2,273	3 2	1	30	18	15,276	0	0	19	15,306	6.7	
S 54	1 2	2,268	3 5	0	0	16	12,923	0	0	16	12,923	5.7	
S 55	1 2	2,268	2 1	1	203	18	11,050	0	0	19	11,253	5.0	
S 56	1 1	2,218	3 2	1	1	18	18,408	0	0	19	18,409	8.3	
S 57	1 1	2,218	3 6	0	0	16	22,716	0	0	16	22,716	10.2	
S 58	1 1	2,218	5 3	0	0	17	25,867	0	0	17	25,867	11.7	
S 59	1 1	2,418	4 7	0	0	16	28,084	1	1	17	28,085	11.6	
S 60	1 1	2,418	5 2	2	135	17	21,468	1	4	20	21,607	8.9	
S 61	1 1	2,418	5 9	2	278	16	16,965	1	3	19	17,246	7.1	
S 62	1 1	2,418	5 8	1	2	18	13,672	0	0	19	13,674	5.7	
S 63	1 3	2,446	4 5	1	86	16	22,168	0	0	18	22,254	9.1	
H 1	1 3	2,446	4 5	1	140	18	16,334	1	14	20	16,488	6.8	
H 2	1 3	2,446	5 9	2	190	16	24,288	1	34	19	24,512	10.0	
H 3	1 3	2,446	6 2	2	932	17	24,454	1	12	20	25,398	10.4	
H 4	1 3	2,446	5 9	2	329	16	22,573	1	48	19	22,950	9.4	
H 5	1 3	2,446	5 4	2	1,658	16	22,241	1	1	19	23,900	9.8	
H 6	1 3	2,446	5 5	2	1,614	16	19,368	1	2	19	21,254	8.7	
H 7	1 3	2,446	5 2	2	588	16	21,940	1	9	19	22,537	9.2	

第3図

## カモ類の年度別個体数



あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、精度の高い調査を行い、数多くの成果を収めた。調査記録は、保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

今後も継続して成果を積み重ね、適確に環境の変化をつかみたい。

調査協力者

五十嵐 清三郎	井 尻 雅 己	池 崎 和 男
上木 泰 男	榎 本 二 郎	苅 田 章
川崎 大 輔	川 井 二	組 頭 夫
久保上 宗次郎	葛 野 俊	栗 田 信
栗 田 真 麻	小 江 畑 充	小 江 畑 裕
小 嶋 明 男	古 畑 義	酒 井 敬
斉 藤 衣 代	阪 本 周	笛 木 美
佐々木 慶 子	鈴 川 文	木 田 治
瀬 戸 靖 夫	関 野 和	高 谷 雄
高 橋 陽 子	田 辺 幹	口 艶
土 田 孝 幸	辻 義	中 林 喜
仲 山 正 美	南 部 富	八 田 右 門
萩 原 昭 彦	畠 中 武	平 堀 幸
平 林 達 也	堀 田 高	城 田 雅
堀 田 統 大	堀 孝	松 村 俊
水 野 吉 彦	宮 城 生	柳 町 邦
吉 楽 間 準	横 山 大	山 本 乘

(順不同敬称略)

〒915

武生市家久町 111-33 (高橋方)

(財) 日本野鳥の会福井県支部 ☎ 0778-23-1862

支部長 八田 七郎右エ門